

## 年頭のご挨拶

新年 明けましておめでとうございます。

昨年度におきましては、当法人の賛助会員の皆様をはじめ、多くの関係各位の皆様にご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

ここに心より厚く御礼申し上げます。

昨年は年明け早々の2月に東京都の月島社会教育会館にて約180名の皆様のご参加をもとに第1回『賛助会員の集いと情報交換会』の開催【本年度は3月19日（月曜日）を予定。賛助会員の他に動産評価アドバイザー認定者もご参加予定。】を手始めとして1年間の活動をスタートさせていただきました。お蔭様にて皆様方のパワーを全面的にいただくことができました。

その結果、5月には第1回『動産評価アドバイザー養成認定講座・認定試験』が開催の運びとなり、10月には第2回、11月には第3回が実施されました。

本年2月には第4回の開催が予定されております。結果と致しましては昨年の12月末時点にて、動産評価アドバイザー認定者が179名（第1回～第3回まで）誕生致しました。第4回の参加者を加えた平成24年度（24年5月～25年3月）の合計予想人数は約250名を超える動産評価アドバイザーの誕生が期待されております。

又、本年2月からは『きんざい通信講座』にて『ABL・動産評価による企業実態把握力強化講座』が開始となります。

本通信講座は金融機関の皆様を中心として、他に各士業に関わる皆様も対象とさせて頂きABLを正しく理解できる通信講座が提供できると確信しておりますので、動産評価アドバイザー養成認定講座と併せて多くの方々にチャレンジをして頂きたいと願っております。

そしてこのことは当初からの念願であった中小企業の求めるニーズに応える為の動産評価による

**『目利き力』の養成**を幅広く浸透できることが可能となった事です。

加えて全国の金融機関の皆様が目指す**地域密着型金融の推進**及び**金融円滑化の入口戦略から出口戦略までのコンサルティング機能の発揮**に役立てて頂ければと思っております。

最後になりますが平成25年は業界として待ち焦がれた**中小企業金融の動産評価元年の到来**であり、動産評価業務が今後の新たな金融のスタートとして位置付けられる予感しております。どうぞ本年も賛助会員及び関係各位の皆様にとりまして、良い年となりますよう心よりお祈り申し上げます私の新年のご挨拶とさせていただきます。

特定非営利活動法人 日本動産鑑定  
理事長 久保田 清